

北条の「食べる」を考える会

平成30年2月25日(日)開催

場所：金光教加西教会

参加者数：17名

第3回テーマ 町の賑わいづくり、実践への一歩

トピック

3月のイベント「イチガタツ」に向けて企画を練りました



前回編成した班ごとに、3月に行うイベント「イチガタツ 北条 食の市」に向け、班ごとに分かれて、具体的な企画について議論・調整を行いました。また、参加者が試作したかしわめしが試作品として振る舞われました。



参加者が地域の方に教わりながら朝からかしわめしを作って参加者にふるまいました



新生揚げパンの試作品も



各グループで話し合ったことを共有しました



“北条の「食べる」を考える会”は、食を切り口に、地域の空き家も活用しながら、北条の賑わいづくりをつなげていこうという取り組みです

3月18日開催の「イチガタツ 北条 食の市」に向けた議論

3月18日開催のイベントに向けて、3つの班では、飲食メニューの販売や、空き家活用の取り組みをPRする展示についてそれぞれ意見を交わしました。イベントに向けたスケジュールはタイトになりますが、近い将来に具体的な目標を設定することで、参加者たちの距離が一気に縮まり、話に一体感が高まっていくのが感じられました。

北条の頼母子講プロジェクト

山里なれども北条は都、
月に六高市がたつ

イチガタツ ～北条 食の市～
3月18日（日）開催

将来的にめざすことを再共有 ～地域のために各々の特技・知恵を集結させる～

当面は「食」を切り口としたイベントに向けて準備を進めていますが、目先のことだけに捉われないよう、現在取り組んでいることを俯瞰しながら、将来的にめざしていることをあらためて共有しました。イベントは北条の賑わいづくりのための一つの過程として位置づけ、イベントをきっかけに今後の取り組みを加速させていくことが重要になります。

①めざすこと

食を切り口に地域の魅力を発掘し、
賑わいづくりのために、起業をめざす人を、
地域の皆ができることから応援していく

②背景

地域の現状

旧市街地は空き家・空き店舗が増え、飲食店がほとんどなくなった（1～2店しかない）

事業者の存在

空き家等での起業を考える若い世代の担い手は少し出てきている。（ココカラの希望者等）

よその動向

他地域では色々取り組みされており、例としてはまず飲食系が第1歩。（高砂、日南、鹿沼等）

北条の課題は
リノベーションをした後の
担い手が少ない&見つからない

やりたい人が手をあげやすい環境づくり
やりたい人が北条に集いやすい場づくり
「やりたい人のチャレンジを応援する北条にする！」
「具体事例を作る！」を当面の目標に！

ゆくゆくは空き家を提供する側の増加にも繋げていきたい！

北条の頼母子講プロジェクト スケジュール(案)



年度末には、1年を振り返り、
自立的な運営体制はどんなものかを検討。
また、プレイヤーの増加やネットワークの拡大に繋がったかを検証